

訓練を重ね安全・安心な町に

新しく動き出した深浦消防署。最新設備の訓練塔では、消防署員が地上10mの高さで救出訓練を実施、町民の安全・安心を守るべく鍛錬を重ねています。



癒しの森「十二湖」を案内するのが、森林セラピーガイド。町認定ガイド「十二湖森の会」を組織し、受入体制は万全です。



いよいよ始まった森林セラピー事業。十二湖森の会会長の原田勇成さん（岩崎上）にお話を伺いました。

◆これまでのガイドと森林セラピーガイドの違いは？

本質的に違いはないと考えています。お客様を自然の中にお連れするわけですから、何よりも安全第一です。安心して歩いていただけるかどうかを事前に判断し、さらに行動中も細心の注意の元でガイドしなくてはなりません。

また、森林セラピーガイドだけに特別なガイド法があるわけではありません。森の素晴らしさを体の五感全部を使って味わい楽しむということは、従前のガイドでも実践してきているわけですから、これこそが「森林セラピー」というものはないのではないのでしょうか。ただ、私たち案内する側からすれば、例えばちょっとした指の運動を試みたり、呼吸の仕方を提案したり、ガイドによっては軽いヨガのようなものを取り入れる人が出てくるかもしれません。

要は、ガイド個々の案内に、今まで以上に幅ができたということだと思います。

◆どこにも負けない十二湖の良さは？

これは簡単です。どこも負けません！（笑）これほど人里近くに、これほどの自然を残す場所はほとんどありません。通常、これだけ優れた自然の中に行くには、山奥へと続く林道などを長い時間車に揺られる必要があるのですが、十二湖は人間の生活圏から徒歩で1時間もあれば到達できます。もうほとんど奇跡です。

そしてこの奇跡の地では、様々な植物や野鳥に当たり前のように出会うことができます。セラピー云々以前に、全国的に知られる十二湖の自然ですから、どこにも負ける要素はないのです。

◆今後の抱負をどうぞー

森林セラピー事業は、まだ始まったばかりです。町の指導と協力のもと、私たちはたくさんを学び、考えてきました。「食」、「癒しの宿」など、これからさらに知恵を出し合っていかなければならないことも多くあります。今の時点でこうしなければならないと、確固としたものがあるわけではありません。広告宣伝一つとっても、まだまだ行政の助言と協力が不可欠というのが、本当のところ。町に住む皆さんのアドバイスも必要です。

それでも近い将来、必ずや皆が「やって良かった」と満足できるよう試行錯誤を続けていきたいと思っています。



森林セラピー事業とは…

森林セラピーとは「森林浴効果を活用した心身の健康維持、健康増進、疾病を予防する活動」を指します。森林の地形を利用した歩行や運動、森林内レクリエーション、栄養・ライフスタイル提案などの方法によって、健康になろうというセラピー（療法）です。森を楽しむことで、心身の快適性を向上させ、保養効果を高めていくものです。

町で取り組む「森林セラピー事業」は、これを一歩進める形で次のような「滞在型健康増進観光」を目指しています。

- ・十二湖地域の新しい魅力、新しい観光の提案
- ・複雑・多様化する現代社会における人々の健康志向の高まり
- ・豊かな「自然」や「食資源」の活用

これらの項目を連携させて、地域の活性化に結び付け、健康ツーリズムという新しい事業展開に取り組んでいきます。

森林セラピー事業展開のイメージ

自然・十二湖における健康増進型の散策、森林浴（セラピーガイド）
食・・・宿泊施設におけるカロリー、塩分等を配慮した健康料理の提供
健康・・・健康意識の向上と実践



自然・食・健康が一つになる「健康ツーリズム」構築



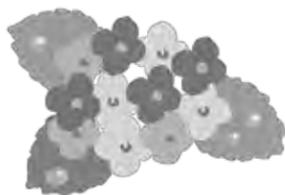
ケガへの対処方法を学ぶ



研修でおもてなし力アップ



- ① 火災発生に備え、放水訓練を実施（田野沢地区）
- ② 防災ずきんを被って高台へ避難する子どもたち（横磯地区）
- ③ 津波襲来に備え沖合に移動した漁船を見守る（岡崎地区）
- ④ 自衛隊による炊き出し訓練（轟木地区）



心に備えを

深浦町防災の日

「災害は忘れたころにやってくる」、「災害は体験を生せ」

これらの教訓を私たちに残した日本海中部地震発生から、31年が経過しました。

住民が災害に対する意識を持ち続け、安全な日常生活を送ることを目指して制定した「深浦町防災の日」の5月26日、全町あげて防災訓練に臨みました。

陸上自衛隊も訓練に協力

訓練は、当時と同じ5月26日正午、緊急一斉放送及び緊急エリアメール伝達と同時に実施。全町あげての訓練には、各保育園や福祉施設、自治会など約3,000人が参加し、防災への意識を高めました。

今回は、マグニチュード7.7、震度5弱以上の地震による津波襲来及び土砂災害で集落が孤立し、家屋倒壊による負傷者発生を想定。参加者は津波襲来の一斉放送を受け、慌てず落ち着いた様子で高台へと避難し、経路を確認しました。

また、孤立集落からの負傷者救出訓練には、陸上自衛隊弘前駐屯地が協力。倒壊家屋から負傷者を救出し、対策本部のある轟木多目的集落センターへ搬送しました。その他、土砂災害により国道が分断されたとして、自衛隊による炊き出し訓練も行われました。

救出活動を終えた陸上自衛隊の須藤さんは「実際に地震が発生した場合は、まず道路状況を確認すること。災害はいつ何が起ころかわからないので、避難経路を確認しておくことが大事」と、訓練の重要性を語りました。

傷者を救出し、対策本部のある轟木多目的集落センターへ搬送しました。その他、土砂災害により国道が分断されたとして、自衛隊による炊き出し訓練も行われました。



5/30 おいしく減塩 健康に

食生活の見直しで健康になろうと、町内各地で活動している町食生活改善推進員の総会・研修会が、町民文化ホールで行われました。

総会には23名が出席。昨年度の事業報告と今年度の事業計画（案）等が審議され、全て承認されました。

続いて研修会では、五所川原保健所中村広美主査を招き、野菜・食塩摂取量と健康増進計画について学習。牛乳を加えておいしく減塩する方法や野菜摂取量の推移を知り、生活習慣病予防の知識を深めました。



減塩の重要性を改めて確認



絶景ポイントまであと少し

5/31 崩山登山に挑戦

教育委員会主催による崩山への登山大会が行われ、小学生6名を含む17名が、標高694mの大崩からの絶景を楽しみました。

朝方の霧も晴れ、汗ばむ陽気の中、登山スタート。板谷正勝さん（松神）と柳町明男さん（3区）のガイドの下、参加者は山の歩き方や動植物を学びながら大崩を目指しました。

厳しい登りもありましたが、参加者全員が大崩に到着。雄大な景色を目の当たりにし、これまでの疲れが吹き飛ばすほどの歓声を上げていました。

迅速かつ正確に

深浦消防署では、最新鋭の訓練塔を使用し、消防署員による救出訓練が行われています。

この訓練は、対岸の川岸に取り残された方の救出を想定。水平に張ったロープを使って、要救助者を救出ロープに吊り下げてけん引するもので、7月に行われる消防救助技術大会の種目となっています。

高所でわずかな風でも危険を伴う訓練とあって、消防署員は引き締まった表情で挑み、速さはもちろん正確な救出を目指して、日々訓練を続けています。



要救助者救出へ向けロープを装着

広告募集中!!

会社やお店の宣伝・
イベントの告知に
ご利用ください!

問合せ先
企画財政課 企画調整係
74-2113

～送り火を大切なお先祖様の為に～

灯籠流し

と き 平成26年8月15日(金)
場 所 ピアハウス特設会場
受 付 午後5時～午後7時30分
開 始 午後8時～



まちかど

みなさんの身近な話題・行事・出来事などの情報をお寄せ下さい。

深浦町企画財政課 企画調整係
電話 74-2113

ウォッチング

5/2 健康で丈夫な繁殖牛に

畜産農家の省力化と繁殖牛の飼育コスト削減を目的とした放牧が、追良瀬牧場で行われました。

追良瀬牧場は、春から秋まで放牧する「夏山冬里方式」で繁殖牛を育てており、草を求めて広い草地を歩き回ることで、健康で病気に強い丈夫な繁殖牛作りに取り組んでいます。

今年も、12軒の畜産農家から成牛・仔牛合わせて52頭が牧場へ集合。個体確認を終えた牛たちは、柵が開けられると勢いよく走り出し、久しぶりの草地を元気に走り回りました。



解放された柵から走り出す



親族とともに長寿を祝う

5/5 100歳はあっという間

山本きくさん（3区）が100歳の誕生日を迎え、吉田町長から顕彰状などが贈られました。

山本さんは、1914年（大正3年）深浦町岡町生まれ。1939年（昭和14年）に結婚、役場職員として採用後は、水道事業のほか国民年金関係や大戸瀬支所などで勤務し、子ども2人、孫3人、ひ孫2人に恵まれました。

大きな病気もせず「あっという間に過ぎた100年」と、しっかりした口調で話す山本さん。笑顔で顕彰状を受け取り、集まった親族と長寿を祝いました。

5/17 しっかりと森を歩く

春の十二湖33湖めぐりが行われ、町内外から参加した24名が、白神の森を散策しました。

参加者は、ガイドの菊池伸吉さん（岩崎下）と柴田敏子さん（森山）の豊富な動植物の知識に足を止めて聞き入り、散策中に見つけたシラネアオイなどの植物の写真を撮っていました。

心配された天気も朝方には雨が上がり、参加者は木々の芽吹きと野鳥のさえずりに加え、しっかりと森の中でたくさんのマイナスイオンを吸収し、リフレッシュした様子でした。



新緑の森を散策

ふかづら いいね!👍

Good Job! Fukaura

●● 神馬 友樹さん ●●

(広戸)

地域住民が、安心して生活することのできる手助けをする社会福祉協議会。4月から訪問介護員として「福祉のまちづくり」実現に向け奮闘している神馬さんにお話を伺いました。



少子高齢化時代に備え介護の道へ

高齢者や障害者の在宅生活を支援するため、訪問介護や生きがい支援活動など、さまざまな福祉サービスを行っている深浦町社会福祉協議会。神馬さんは、この4月に採用された22歳のフレッシュマンです。

「高校卒業後は就職しようと思ったが、自分が何をやりたのか分からない」状態だった神馬さん。悩んだ末、これからは少子高齢化時代が避けられないこともあり、成長が見込める介護分野に進もうと決意、介護福祉士の資格が取得できる弘前医療福祉短期大学部介護福祉専攻へ進学しました。

「あまり勉強は得意ではなかった(苦笑)」とのことですが、2年間の学生生活では、社会福祉や地域福祉といった基礎的なものから、介護の基本、認知症や障がいの理解、介護実習といった専門的な分野までみっちり学び、介護福祉士の資格を取得。卒業後は、弘前市内の障がい者支援施設に勤務してきました。

現在は、社協の訪問介護員として他の5名のスタッフとともに、高齢者宅への訪問や在宅入浴のお手伝いをしながら、徐々に仕事や職場の雰囲気のペースを掴みつつあります。

お世話になった地域へ恩返し

地元へ帰ってきた理由について何うと「深浦で生まれ育ったので、地域住民に接した仕事があった」と語る神馬さん。若い人の雇用の場が限られている昨今、縁があって、これまでの経験を生かした職に就くことができ、やる気満々の様子です。

ただ、地元で働く仲間が少なく、すぐに会うことができないのがちょっと不満のようで「介護福祉の分野も含めて、も

っと地元で働く場所があれば若い人たちが増えるのでは」と思っている神馬さん。それでも、4年間地元を離れて生活し、外から客観的に深浦を見つめて視野や感覚が広がったようで、高校時代は「不便でいいイメージがなかった」深浦が、今では風で運ばれる潮のにおいに一息つき、日本海に沈む夕陽の美しさに感動するなど、改めて自然あふれる町の魅力を感じています。

最後に、今後の抱負を何うと「今の仕事をきちんと覚えて、障がい者支援施設で習得した技術や知識を加えた自分なりの介護ができればと思う。まだまだ未熟者だが、将来的にはケアマネージャーの資格を取って、地域の方々に還元していきたい」と力強く語ってくれました。

町の高齢化率は県内第3位の41.0%となっており、今後も高齢者が増えていくのは避けられない状況。1人暮らしや高齢者のみの世帯の支えとして、神馬さんをはじめ、介護福祉に新しい風を吹き込む若い力に、大きな期待が寄せられています。



頼られる訪問介護員を目指して日々奮闘

「ふるさと納税」制度を利用した寄附の状況について

「ふるさと納税」とは、居住地以外の自治体（ふるさと）に対して寄附をした場合に、一定の限度額まで所得税と個人住民税が軽減される仕組みです。

これまで皆様から寄せられた寄附の状況についてお知らせします。

◎寄附の件数・金額は以下のとおりです。

年度	件数	金額
平成20年度	3件	160,000円
平成21年度	9件	2,160,000円
平成22年度	8件	1,294,000円
平成23年度	8件	509,000円
平成24年度	11件	584,000円
平成25年度	12件	793,000円
計	51件	5,500,000円

◎寄附者の主な住所地は以下のとおりです。

住所地	件数	金額
東京都	18件	2,800,000円
埼玉県	7件	730,000円
千葉県	7件	640,000円
神奈川県	7件	685,000円
その他	12件	645,000円
計	51件	5,500,000円

数多くのご支援ありがとうございました。

深浦町では多くの方々から応援いただけるような魅力あふれる町づくりを目指しますので、町外在住の町出身者など、ふるさと深浦を応援して下さる方からのご寄附を心からお待ちしています。

■問合せ先 税務課税務係

TEL : 0173-74-2114 FAX : 0173-74-4415

E-mail : furusato_nouzei@town.fukaura.lg.jp

町政への提言レター

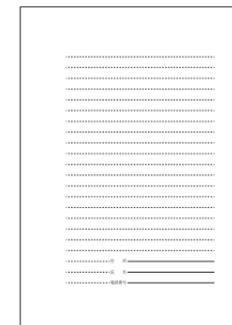
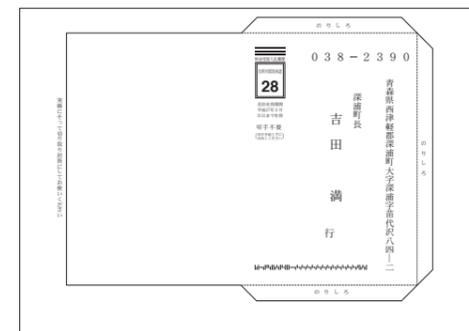
町では地域住民の声を反映させるため、町民がより自由な形で意見・要望などの提言を町政に対して行えるよう、『町政への提言レター事業』を実施します。

◆町政への提言レターは、次の方法で行います。

町政への提言レター募集用紙を年2回広報紙に折り込み、全世帯に配布します。切手の貼付、郵便番号の記載は必要ありません。差出有効期間内は随時受け付けします。

町政に対する意見・要望は町の振興に関する建設的なものとし、個人あるいは特定の団体に対する誹謗中傷はご遠慮ください。差出人に回答する際に必要となるため、住所・氏名の記入をお願いします。

提言レターが契機となり、町勢振興のための諸施策に反映されたご意見ご要望や、広く町民のみなさんにお知らせする必要があるものについては、その提言内容等を広報紙にてお知らせします。



たけくま動物病院
TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL

秋田県能代市藤山114番地
TEL 0185-89-2666

http://www.takekuma-vet.com/

◎診療時間

	月	火	水	木	金	土	日・祝日
午前	9:00~12:00	○	○	10:00~12:00	○	○	10:00~12:00
午後	3:00~6:00	○	○	3:00~5:00	○	○	3:00~1:00 1:00~3:00

「思いやりの心」と「明るく誠実に接する」動物病院を目指しています。
狂犬病予防注射は病院で随時接種できます。

入院施設有
往診快諾

- ペットホテル・トリミング有
- 避妊・去勢手術随時受付
- 狂犬病・フィラリア・混合ワクチン予防実施
- 各種検査、健康診断(血液・レントゲン・超音波・内視鏡・心電図等)

MEGA すき家 はま寿司 ITOKU ホーマック
TUTAYA ホテルミナミ ●くすりの大越 ●ちえ美容室
四小入口 ●ももデンタルクリニック ●第四小学校
たけくま動物病院 TAKEKUMA SMALL ANIMAL HOSPITAL ●ローソン

大切な御縁をいただいたお客様に ~ありがとう~ とされる仕事を心掛けています。

ご用命は
任せて安心の

ご予算に応じた御葬儀を
提案・施工いたします。

厚生労働省認定
1級葬祭ディレクター在籍店

「ペット葬」創始者

株式会社 深浦葬祭
Fukaura Funeral Service

電話(74)4536 FAX: 74-4546

病院・施設等からの搬送は安心の緑ナンバー車で!
「一般貨物自動車運送事業(霊柩)第497号」
365日・24時間受け付けております。

おめでとうございます 本田満生さん(6区) 叙勲「瑞宝双光章」受章

このほど発表された春の叙勲で、本田満生さん(6区)が瑞宝双光章を受賞しました。

本田さんは、昭和34年4月に深浦町役場に採用、以来37年余りにわたり町政の運営に尽力。この間水道課長、観光課長、議会事務局長、総務課長等の要職を歴任し、優れた行政手腕を発揮しました。

また、平成8年9月の収入役就任を始め、教育長、合併後には助役に就任、平成25年5月に副町長を退任するまで、新旧深浦町で特別職職員等として町民の融和、行政改革及び財政再建に強いリーダーシップを発揮しました。

これらの功績が認められ、今回受章したものです。



健康万歩計は、西北五医師会が、皆さんが健康で元気に過ごすための必要な情報を提供し、ドクターからのアドバイスを紹介するコーナーです。

今月のドクター 山下 優先生
深浦医院・院長



最近話題の「混合診療」を巡って①

(1) 最近よく耳にする「混合診療」について

1. 医師による診察と治療のことを合わせて「診療」と言いますが、「診療」は保険診療と保険外診療に分ける事が出来ますが、患者さんが支払う費用は大きく違います。保険診療、これは馴染み深いものではないでしょうか。「保険証」を提示して診療を受け、払うお金は保険が使えるので自己負担分だけと少なく済みます。他方、保険外診療、これには馴染みは少ないかと思えます。保険が使えず全額自己負担となり、支払額は高額になります。「進んだ手術」とか「保険のきかない薬」とかのイメージをお持ちではないでしょうか。
2. 「混合診療」とは「保険診療と保険外診療を組み合わせた診療である」と説明されるのが一般的です。間違いは在りませんが、「ピンとは来ない」感じです。そこで、日本でのこれまでの医療の歴史の中での混合診療に関連する部分を取り上げ、混合診療についてのお話を進めてみたいと思います。
3. これまでの日本では、保険外診療を受けた場合(→例えば、1990年の時点で「人工尿道括約筋の埋め込み術」を受けた場合)は、その保険外診療の中に、通常なら保険の使える部分(診察・検査・投薬・入院料等)が在ったとしても保険は使えず、一切の費用が自己負担となっていました。つまり「混合診療」は日本には無かったのです。

4. しかし、1984年からは保険外診療を受ける場合でも、国が定める「評価療養」や「選定療養」に該当する場合には、保険診療との併用が認められる様になりました。併用が認められるとは、保険外診療中でも保険診療と同じ部分には保険が使える、その同じ部分の費用は自己負担分だけで済むという事です。国が認めた保険外診療なら保険診療の併用も認められる様になった訳で、これが日本での「混合診療」の始まりです。
5. さて「評価療養」とは、近い将来、保険が使えるようにする事を前提とした療養のことです。それには、先進医療(高度医療を含み、100種類を超える新しい魅力的な診療技術が並ぶ)、医薬品の治験に係る診療、適応外の医薬品の使用等の7種類が含まれています。又、「選定療養」とは保険が使える様にすることを前提としないものです。その中には、特別の療養環境(差額ベッド)、歯科の金合金等、180日以上入院等の10種類が定められております。最近では、これらの一層の拡充が速度を増して推進されようとしているところです。
6. このお話での後半の部分では、1993年に「評価療養」の一分野、「先進医療」に認定された「人工尿道括約筋の埋め込み術」を例にとり、混合診療についての理解をもう少し深めてみたいと思います。

続きは広報ふから7月号に掲載します。



「特定健診」・「ガン検診」を受診して、笑顔で暮らせる毎日を!

青森県のH22年度平均寿命は全国最下位!

深浦町のH22平均寿命 男性77.5才(県内11/40位) 女性84.4才(県内39/40位)

女性については全国ワースト6位の短命です。

昨年、ガンで亡くなった方は48人(50歳代の働き盛りの方が9人と近年で最多)

H25がん検診受診率 肺がん21.5%、大腸がん21.4%、胃がん17.7%

これが深浦町の現状です。

なんとかしてこの悲しい現実を打破したい!



今年はやります! 特定健診・がん検診がナント 全項目無料!(手ぶらでOK)

(ただし、社会保険にご加入の家族についてはがん検診のみ無料となります)

深浦町では、6月18日~7月4日まで、町内3か所で特定健診・がん検診を実施します。



●がん検診での体験談

「検診のおかげで今、私は生きています」

毎年の検診を受けている私ですが、昨年の検診で「要精検」の通知が届きました。以前にも何度か「要精検」の手紙が届いていたので、「またか」とばかりに、半ば安心を得るために病院を受診することにしました。

だるさや疲れやすいといった自覚症状も全くなく、晩酌にビール1缶を嗜む自分は健康体であると信じていましたので、胃がんが発覚したときはただただ驚きでした。「がん」という響きに不安を覚えました。医師から「早期発見のがんは今は治る病気」です。と言われすぐさま手術を決断。手術では胃の2/3を切除することになったが、術後は良好で3週間で退院することができ、早期発見だったため抗がん剤治療も必要なし。退院後は月に一度病院に行くだけで以前と変わらぬ生活をおくることができている。もしも「またか」と要精検を無視して病院を受診していなかったら、もしも「今年は検診タイギだじゃ」と検診を受けていなかったら、私のがんは進行し現在の生活はできていないと思います。日々の生活がこんなにも穏やかであることに幸せを感じ、検診のありがたみが身に染みしています。

「自分は大丈夫」みんなこんな根拠のない自信をもって日々の生活を送っていますが、病気は知らない間に体をむしばんでいることがあります。大事な家族を悲しませることのないように、是非皆さんにも検診を受けていただきたいと思います。(談 岩崎下地区 吉田修さん)

※特定健診、がん検診に関する問合せ先 地域包括ケアセンター TEL76-2042

ラーメン101 季節限定新メニュー
とろろ魚介醤油 750円
あっさり醤油スープに魚介の香味油でコクを。柔らかく煮込んだ分厚いチャーシューとシャキシャキ野菜でボリューム満点!

深浦町月屋裸森24 ☎75-2161 営業時間11時~17時(火曜定休)

『深浦マグロステーキ丼』
町内7店舗で好評販売中!
もちろんウェスパ椿山でも食べられます!

深浦マグロステーキ丼

ウェスパ WESPAC 椿山 ☎0173-75-2261

深校だより

木々の緑が目眩しい今日この頃。深浦校舎では、穏やかな時間が過ぎていきます。73名の生徒達はほとんど欠席することもなく、毎日明るく高校生活を続けています。

深浦校舎は前年度、県教育委員会が主催する「地域の教育力によるたくましい高校生活成事業」の推進指定校となりました。その中で、吉田満町長とのディスカッションや白神山地で写真撮影を行う浜田哲二さんの講演会など、深浦町を深く知るための様々な試みを行ってきました。その一環で、7月2日、「十二湖森林セラピー遊歩道」に敷くチップを作るための雑木運びを全校生徒で行います。町内の笹内川の岸に流れている木などを集め、1カ所に運び、チップを作り、袋詰めをします。この催しは、白神の環境問題とも関連していて、各方面からの関心が高く、新聞やラジオの取材を受けています。

春季大会の結果報告

わが校には、硬式野球部、サッカー部、陸上競技部、バドミントン部、卓球部の運動部があります。5月からは試合のシーズンです。この度、地区や県の春季大会が行われました。

まず、春季大会では、卓球のダブルスの試合で、山下真梨さん(31HR)と山本真奈恵さん(21HR)のペアが、またシングルスでは野呂雅さん(11HR)が初戦を突破するな



ど、活躍を見せました。さらに、地区大会ではサッカー部が中里高校と対戦し、7-0で勝利をおさめました。

今後生徒達は、高校総体や7月に行われる甲子園予選に向けて、日々の練習を積み重ねていきます。応援よろしくお願いたします。

1年次介護体験学習

5月20日、轟木の「はまなす荘」で、1年次生29名が参加して「介護体験学習」を行いました。これは、毎週行っている授業の「総合的な学習の時間」の一環として行われているもので、施設を訪ねて利用者として利用者とふれあい、同時に体験学習を通して共生の考え方や社会福祉への認識を深めることがねらいです。



参加生徒は、シーツ交換や食事介助等に取り組み、高齢者の方とのコミュニケーションや気遣いの大切さなど、普段の授業においては体験できないことを学び、同時に介護の仕事の大変さを感じていました。

6・7月の行事予定

- 6月14日(土) 体育祭(PTAから地域の皆様にも豚汁を準備しております。是非、見に来て下さい。)
- 6月26日(木) 7月1日(火) 1学期中間考査
- 7月2日(水) 白神体験学習
- 7月8日(火) ふるさと研修(不老不死温泉社長 西崎 朋氏講演会)

町民文化

青色のパワー聚めて夏の池
色ほどこきを広げて若楓
海一望白神山地山笑う
金色に写る外灯代掻田
白神岳へ青き炎群の川柳
花種時々挨拶のごと膝折りて
菜の花に埋もれ手を振る笑顔かな
朱夏の憂々沸き壺の水洗いけり
樺新樹向帳に木洩れ日遊ばせて

浦田 幸子
砂子田 ツエ
菊池 シユン
渋谷 真佐江
山本 こう女
田口 ゆき
七戸 たか女
山本 志恵
近藤 月子

編集後記

去年の10月にも登った崩山。低い雲の影響で大崩からは絶景とまでいかなかったこともあり、今回、家族と一緒にリベンジしてきました。

朝方の霧もすっかり晴れ、気温の上昇とともに夏を思わせる青空。大崩からも素晴らしい景色を見ることができ、リベンジした甲斐がありました。

帰ってから子どもにも感想を聞くと、登山そのものよりガイドの板谷さんに興味津々。テレビから流れる「マ、マ、マグステー！」のCMの人に良く似た人がガイドしていると、ずっと思っていたようです。

うちの子にとって、大崩からの景色よりもテレビの中の有名人に接することができた貴重な1日となりました。

今月の一冊

『ギヤザリング・ブルー 青を蒐める者』

ロイス・ローリー／著
島津やよい／訳
新評論／刊

このコーナーでは、太宰の宿ふから文学館がお薦めする書籍を紹介いたします。



青い糸に託された未来

少女キラは、生まれつき片足が不自由です。唯一の家族だった母親を亡くし、孤独となったキラは、彼女を好ましく思わない村人によって、村を追い出されそうになります。

裁判に掛けられたキラは、たぐいまれな刺繍の才能を認められ、新しい保護者のもとで居場所と仕事を与えられます。

キラに任されたのは、〈集會〉の儀式で歌手のまとうガウンの修繕です。

た。民の歴史を描いたガウンの刺繍に取り組むうちに、キラは青の色を強く望むようになります。

しかし手元に青い糸はなく、青を作る事もできません。キラが知っているのは、青を持っていて人たちがどこかにいるという話だけです。

訪れた〈集會〉の日、キラは思いもかけぬ人物から青を作り出す材料を渡されます。それと同時に彼女にもたらされたのは、才能ある子どもたちを思い通りにコントロールしようとする権力者たちの存在と、彼女にまつわる出来事の実実でした。

全てを知ったキラが導き出した決断とは、何なのでしょう。

先月紹介した『ギヴァー』に連なる四部作のうちの二作目にあたる、『ギヴァー』と合わせて読んでほしい、おすすめの世界です。

戸籍の窓

4月21日～5月20日までの戸籍届出

お誕生おめでとう

- 熊谷 凜音(海) 広戸
- 阪崎 岳彪(龍) 風合瀬

おくやみ申し上げます

- 白川 利江(96歳) 3区
- 中林 隆(65歳) 5区
- 上田 禮子(78歳) 5区
- 石見 三雄(79歳) 崎の町
- 塚本 一郎(99歳) 12区
- 藤沢 澄子(80歳) 関
- 桐越 徹二(84歳) 岩崎中
- 岩谷 京子(76歳) 岩崎中
- 村上 ふじ江(89歳) 正久



深浦町の人口と世帯
(5月末日現在)()内は前月比

男 …… 4,378人 (-7)
女 …… 4,900人 (-4)
計 …… 9,278人 (-11)

世帯数 3,905世帯 (-2)
深浦町の総面積 488.86km²



このコーナーでは、元気いっぱいな園児達の作品をご紹介します。

柳田保育園のなかよしたち 「時の記念日」

(上段左から)

ももた	お	お	がくん (5さい)
いずみや	ふ	う	がくん (5さい)
こ	ん	とら	のすけくん (5さい)
とよた	か	え	でくん (5さい)
たつき	こ	う	くん (6さい)

(下段左から)

そのむら	ぎ	よ	うくん (5さい)
まえだ	と	も	きくん (5さい)
くろたき	そ	う	あくん (5さい)
いとう	し	お	んくん (5さい)



深浦町の花



■福寿草■

深浦町の木



■ 樺 ■

深浦町の鳥



■カモメ■

* 寄附者の紹介 *

ふるさと納税制度を利用したご寄附を次の方からいただきました。

○弘前市 石澤 幹 夫 様

ありがとうございました。



みんなに 元気 です!

このコーナーでは、1歳を迎えた子ビッコ達をご紹介します



こうたろう
小野 光太郎ちゃん
(父 光 康さん) 北金3区
(母 千賀子さん)

光るガラスで幻想的に

ふかうら文学館で開催された「明治・大正ガラス器展」。12区在住の秋元司さん所蔵のガラス器が展示されました。

レトロな物が展示された中で注目を集めたのが、紫外線ブラックライトを当てると黄緑色に光るガラス器。幻想的な雰囲気、町民の目を楽しませました。

